

仁範にはんは不思議ふしぎな思しいで蓮華れんげ

寺じに戻もどり、境内けいだいを隅くまなく探たづし

たんだど。そうしたら白髪はくはつの

老人らうじんが言いったとおおり、三葉さんようの

松まつで、確たしかに三鈷さんこの形かたちにかなっ

ている松まつがああったんだど。そ

れで仁範にはんは老人らうじんに言いわれたと

おおり、高野山たかのやまに行いくのをややめて、

この寺てらを最さい後の地ちとすること

にして、決けつ意ぎを新しんたにして修業しゆぎよう

に努ゆめめた結けつ果くわ、寺てらは六坊ろくぼうを数かず

ええるほほどに発はつ展てんしたんだと。

